

スポット企画展

津軽の文学の祖

たけべあやたり

建部綾足展

綾足を生んだ津軽は、善蔵と太宰にとっても
所詮異質ではない文学的風土であったのです。

久藤達郎「綾足伝」より

令和6年12月11日
～令和7年2月24日
(休館日:令和6年12月29日～令和7年1月3日)



建部涼侘(綾足)俳画軸「野僧焚火」
青森県近代文学館蔵

関連展示

弘前市立郷土文学館



郷土文学館
公式WEBサイト

【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで)
【観覧料】 一般 100円 小・中学生 50円
(弘前市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、
ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料)
〒036-8356 青森県弘前市大字下白銀町2-1(追手門広場内)
TEL 0172-37-5505 FAX 0172-36-8360

令和6年度 弘前市立博物館 企画展2

「いのちなりけり 没後250年 建部綾足」

令和6年12月7日～令和7年2月2日
(休館日:12月16日、12月29日～1月3日、1月20日)

弘前市立博物館

青森県弘前市下白銀町1-6(弘前公園内)

※別途、観覧料が必要です。



博物館
公式WEBサイト

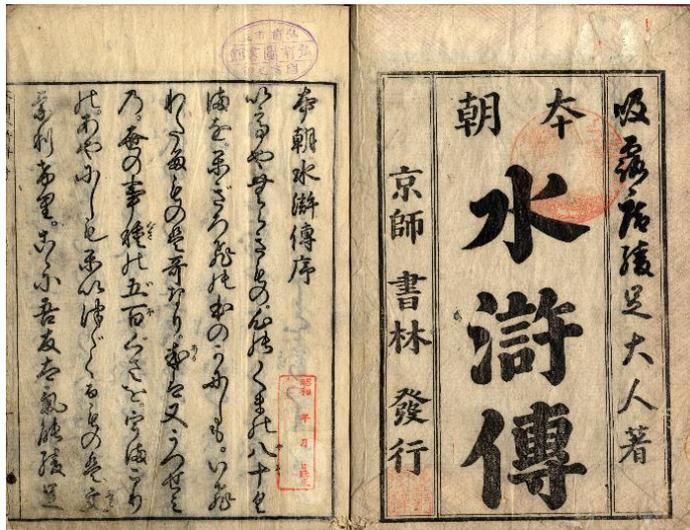
津軽の文学の祖・建部綾足展

建部綾足(享保4年〜安永3年)は、江戸時代中期、山鹿素行の血を引く弘前藩の家老の次男に生まれた。幼少から文武の英才、才気煥発、また美貌でもあったが、20歳の年、兄嫁と通じて駆け落ちしようとして果たせず故郷を出奔。56歳で江戸で没するまで身の置き所も人間関係も変遷しつづけながら、俳人・歌人・読本作者・国学者・画家として、多彩に激しく生きた。

本展は、津軽における「文学の祖」(小野正文『続北の文脈 青森県人物文学史』)といわれる建部綾足にかかわる著作を中心に展示し、その魅力を紹介する。



建部綾足肖像画 画・北尾重政



建部綾足 『本朝水滸伝』 安永2年

中国の『水滸伝』の翻案で、壮大なスケールの物語。曲亭馬琴が「今のよみ本の嚆矢也」(読本の先駆け)と評価した。

弘前市立弘前図書館蔵



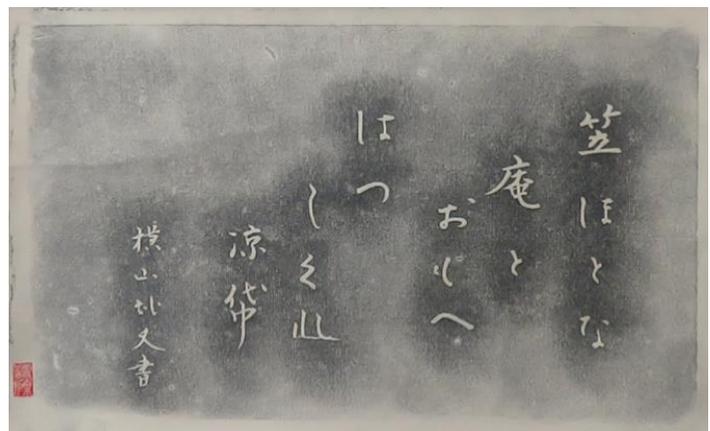
長部日出雄 『未完反語派』
福武書店 昭和57年12月15日

建部綾足の生涯を素材とした長部日出雄の長編小説。



工藤正廣
『片歌紀行 今に生きる建部綾足』
未知谷 平成17年11月10日

津軽出身の異才・建部綾足の足跡を同郷の詩人がたどる紀行エッセイ50章。



建部綾足文学碑拓本

「笠ほとな庵とおもへはつくれ 涼袋」 書・横山武夫

文学碑は昭和36年9月25日、弘前市の長勝寺境内に綾足会が建立した。綾足が江戸浅草に吸露庵を設けた時、住所変更通知として披露した句が刻まれている。